

## ミニデイサービス便り

### 小さな画廊

大きなしわしわの古ぼけた和紙、捨てるにはしのびない美しい包装紙、リサイクルの紙などを使って利用者さん、ボランティア体験学習の中学生、スタッフと共同の作品作りが始まりました。

いつもの水彩やクレパスはでなく、墨だけを使いテーマを「墨と筆で遊ぶ」としました。利用者さんは、戸惑いながらも墨の香をかきながら心静かに筆を運ばれ、俳句を書かれる方、素晴らしい筆のタッチで絵を描かれる方、立ち上がって大きく腕を動かして書かれる方などいつもと違う雰囲気がありました。

Tさんは「何を書きましょう」と思案されていました。絵はお好きでない様子だったので、仮名で『まごころ』と和紙に書いていただくとその丹念な字に自ら満足の様子で笑顔がこぼれました。

隣にいらしたKさんが、その字の周りにハートの形を薄墨で書いてくださってお二人での協同作業が素晴らしい作品に仕上がりました。利用者さんどうしの心の温かさを感じることができました。

89歳のAさんは『昔のお嫁さん』を描きながら、側の中学生に「何でもほどほどがいいよ。運動も勉強も。頑張ったらあかんよ」と言われ、きっと長い人生の体験から出た言葉だったのでしょう。

芸術の秋、沢山の作品が出来上がりました。ミニデイの場所は、にわかには小さな画廊になり、それぞれにお年を重ねられた利用者さんの「生きる」という強い筆跡に人生の感動を覚えました。

9月のミニデイサービスは  
保育園 9 / 8・22 事務所 / 6・13・20・27

### 10月の定例会

10月2日(日)

定例会 9:30~10:30  
介護技術勉強会 10:30~12:30  
児童デイ定例会 13:30~15:00

## 痛み

高 勝義

痛みは色々な病気で生じる現象である。おまけに痛みは病気がばかりでなく、病気以外の原因からも生じるやっかいな症状である。痛みを生じる病気の代表として、誰しもがまず癌を思い浮かべるであろう。その他片頭痛、顔面の三叉神経痛、椎間板ヘルニアなどの神経圧迫による神経痛、虫歯による歯の痛み、切り傷や骨折の痛み、関節リュウマチの痛み等々の病気のほか、経済的・家庭的問題による心の痛み等原因をあげればきりが無い。

癌が神経を圧迫したり浸潤したりして痛みが生じることは分かっているが、薬理・生理学的にどうして痛みを感じているのかまだまだ分からない事の多いのが現状である。

例えば癌の痛みでも、内臓に癌が進展した場合と、骨やリンパ節に癌が転移した場合とでは、痛みの性質も異なっているようであり、したがって痛みに対する治療法も若干異なるのである。

さらに癌によって命が制限されることや、家族との別れや、癌の治療に対する費用などの問題で、本人ばかりでなくその家族も心の痛みを持つことがあるのだが、その場合は又違った意味での痛みの治療が必要である。厄介なことに痛みの度合いを客観的に表すことは現在では全く不可能である。

痛みはそれを感じている人にしか理解することが出来ない厄介者である。この痛みを数値的に表すことが出来ないか研究をしたらどうかとある若い医師に勧めたことがあるのだが、とても難しすぎると断られたことがある。かりにその人の痛みは100、この人の痛みは50と、客観的に評価できたらどんなに便利かと思うのだが、一方では痛みという日常当たり前に起こっていることすら数値化できない、ロボットではない人間という身体の不思議さ、神秘さにホッとするのである。

痛みは人間が生存するために神様から与えられた苦痛であり、体の防御機構であると思っている。私達は生きていく限り動かずじっとしている事は出来ない。

動く限りどこかに障害物はある。もし体に痛みを全く感じないとしよう。道を歩いているときも、家にいるときも、壁や障害物にぶっつけても、かりに手や足を切ったとしても、痛みを感じないので、手や足は傷だらけになってしまうだろう。そしてその傷口からバイ菌が入り、化膿しても痛みも感じない。最後に敗血症になったり、出血したりしてあっという間に死んでしまうであろう。

人間には痛みという苦しみを与えられ、それによって危険から自分自身が守られているのであろう。痛みは神から与えられた苦しみではなく、自分自身を守り、人間らしく生きるように与えられた不思議な現象の一つのようである。

最後に付け加えるが、神から与えられたからといって、痛みを全て我慢せよとは思わない。私達医師はこの難しい痛みから、より多くの人々を如何に解放するのか、考え行動する事が義務である事は当然である。  
(山下病院)

### △お知らせ△

平成17年度住民参加型在宅福祉サービス

団体セミナーが開催されました。

日時：平成17年8月18日(木) 県社協

以下は、内容の一部です。

- ① 住民参加型団体の役割について講演
  - ・常に新しいニーズに沿い、望ましいサービスを作り出していく。
  - ・協働をすすめる、地域福祉の担い手の広がりを作る。
  - ・協働は、互いの個性をつなぎ、文化の違いを理解し、認め合い、新しいものを作っていく。
- (講演者：元全国社会福祉協議会事務局長の和田敏明氏)

### ② 福祉有償運送についてグループ討議

福祉有償運送許可に対する条件であるガイドラインは、守らなくてはなりません。そのために、繁雑で膨大な書類作りや対象者の範囲に限定もあつたりと課題も多く、来年四月以降の運営には躊躇している団体もあるようでした。



## 9月の予定

- 1日(木) 会報「まごころ」発行 ワーカー介護技術勉強会
- 2日(金) 県介護保険説明会
- 3日(土) 移動ネット愛知理事会
- 4日(日) 定例会・避難訓練 児童デイ定例会
- 6日(火) 移動ネット愛知臨時総会 ミニデイサービス
- 7日(水) サービス提供責任者会議
- 8日(木) ミニデイサービス(保育園)
- 13日(火) ミニデイサービス
- 14日(水) サービス提供責任者会議
- 20日(火) ミニデイサービス
- 21日(水) サービス提供責任者会議
- 22日(木) ミニデイサービス(保育園) 児童デイ事務局会議
- 24日(木) 理事会
- 27日(火) ミニデイサービス
- 28日(水) サービス提供責任者会議

## ふれあい広場

*支援費児童デイサービス	毎週 月、水、木、金	15時~18時
	毎週 水、金	9時半~12時
	毎週 土	10時~17時
*太極拳	毎週 火	16時~17時
*中高年のピアノ教室 第2、4月曜		9時~12時
*中高年の体操教室 第1、3、5月曜		10時~12時
*ふれあい広場でお茶	毎週 木曜	10時~12時

### お知らせ ご参加ください

#### 第5回一宮市地域福祉ネットワーク会議 「地域福祉と住民の集い」

地域でいつまでも安心して過ごすために 広げようサロン みんなで生きがいづくり

日時：平成17年10月1日(土)午後1時~4時

場所：木曾川公民館講堂

主催：一宮地域ネットワーク会議・一宮市  
会費：無料

内容：◇基調講演 中野綱生(生活記者) 高間 睦氏  
「介護予防のカギは地域が握る」

◇サロン紹介

◇シンポジウム/「広げようサロン みんなで生きがいづくり」

「まごころ」もシンポジストで参加します。

7月の助け合い活動		7月の介護保険活動	
有償活動件数	31件	利用件数	56件
有償活動人数	42人	生活支援	423時間
ミニデイサービス利用者	68人	身体介護	754.5時間
移動サービス利用件数	36件	合計	1143.5時間
ふれあい広場利用回数	15回		
助け合い活動時間	517.5時間		
補助事業(精神障害者在宅)	13時間		

7月の支援費活動		7月児童デイ(午前)		7月の会員登録	
訪問件数	33件	児童デイ開所日	3日	協力会員	61人
身体介護	188時間	延べ参加人数	20人	利用会員	86人
家事援助	134時間	参加人数/日	6.7人/日	賛助会員	106人
移動介護	98.5時間	7月児童デイ(午後)		合計	253人
日常生活支援	12時間	児童デイ開所日	22日		
合計	432.5時間	延べ参加人数	205人		
		参加人数/日	9.3人/日		

高賀山で登山者を待つフジグロセンノウ  
とても山頂までは行けない時刻。引き返そうか、  
もどかしい時間が過ぎた。  
この花に出会った。 . . .  
これでよし、そろそろ下山することにした。

